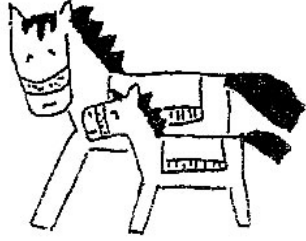


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく〜

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポッキリ、ポッキリと

**30年 11月 NO.288**



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

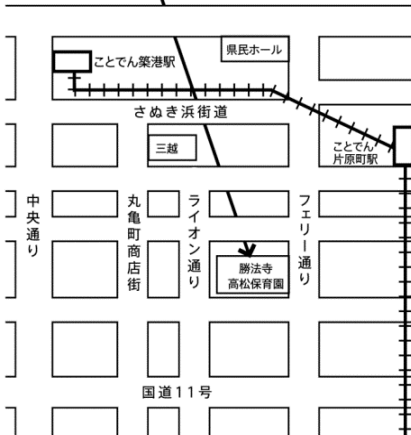
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		<b>11月の主な活動</b>		～お気軽にどうぞ～
11月 10日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って 一緒に遊びましょう・	
11月 17日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も育児体験・見学に おいで下さい。	
11月 17日	土	絵本と小物づくり 14:00～16:00	「長～くなるふしぎ絵本」を作ります。 色々な物語の場面をかいてみましょう。	
11月 21日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	教育学費や相続税の話など専門家に 話していただき、相談もできます。	
11月 30日	金	おはなしの会 10:00～12:00	「声をだしてあたたまろう！」をテーマに 大型絵本やわらべ唄、手あそびもあります。	
11月 30日	火	健康・育児相談 11:00～12:00	園医師（小児科医）にゆっくり 相談できます。（予約要）	

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して  
いますので、親子でご来園下さい。  
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談（月～土）9:00～18:00  
しつけや子育てについての悩み、保育園生活  
入園・見学についての相談もどうぞ。

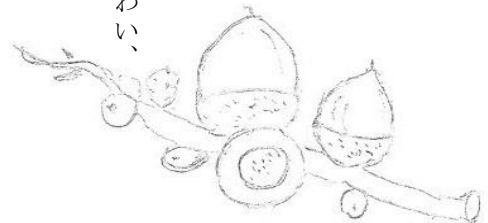
香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園 地域子育て支援センター



どどん  
どどんぐり山で  
お前かきに  
お山を降  
お帽子が邪  
お帽子をかぶ  
お山を出た  
お花を摘  
お花を摘ま  
前かき邪魔よ  
みな捨て  
る。

ど  
ん  
ぐ  
り

金子みすゞ 童話全集  
「美しい町の上」  
JULA出版局



☆今月の内容—「乳幼児からの性教育について」

# 乳幼児期からの性教育について

誤った性の情報が氾濫し、スマートフォンの普及で子どもも簡単にアクセスできてしまう今、親は正しい知識をどう伝えたらよいのか。長年、子どもの性教育に取り組む専門家らに、幼い子どもが生活の中で自然に学べる方法を聞いた。

「性について知ることは、子どもが性暴力に巻き込まれないためにも大切。大人は性教育＝性交について教えると思ってしまうが、重要なのは自分の体を大切にできることです」。長年、子どもの性教育に取り組む“人間と性”教育研究協議会幹事で元小学校教諭の星野恵さんはそう話す。「難しく考えず、日常生活の中で自分の体を知ることから始めましょう」

まずは他の体のパーツと同様に、名前を知ることから。「男の子は立っておしっこをするけれど、女の子はしゃがんでするのはなぜ」と子どもに聞かれたら、恥ずかしがらずに「女の子はおちんちんがないね。おしっこの出るところの形で男か女かわかる。そこは性器という名前だよ」などと説明する。男の子のおしっこの出るところはペニスという名前、ペニスの後ろにしわのある袋があること、女の子はおしっこの出口の他に赤ちゃんが生まれてくる穴があることも簡単に伝えよう。

トイレの仕方もきちんと教えたい。女の子はおしっこの後、紙を折りたたんで性器のところに5秒あてる。うんちの後には、おしっこの出口が汚れないように前から後ろにふく。男の子は、ペニスの皮を少し引いてペニスを持っておしっこをすると飛び散らない。

## ●性器は自分で洗う

一緒にお風呂に入った時に、親が頭、顔、腕、おへそ…と名前を言いなが





ら洗ってあげるのも一つの方法だ。ただし、性器は小さいころから自分で洗う習慣をつけたい。女の子はしゃがんでシャワーでお湯をかける。男の子はペニスの先が汚れやすく、不潔にしていると炎症を起こす場合もある。包皮を少し体の方に引いて、お湯をかけてペニスの先を洗い、包皮をもとに戻すという手順を覚えさせ、清潔にしておくことを教える。

口と下着を着けている部分（胸、性器、お尻、肛門）は「プライベートパーツ」。自分だけが見たり、触ったりしていいところで、ほかの人に見せたり触らせたりしない。性的な意味がなくても、子どもはなんとなく性器をいじることがある。

「その場合、大人はびっくりしたりむやみに叱ったりせず、『プライベートパーツは人前では触らないよ』と伝えてほしい」と、同協議会代表幹事で元養護教諭の中野久恵さんはアドバイスする。

服やパンツを脱ぐのは、入浴やトイレのとき・お医者さんに診てもらったとき・着替えするときだけで、そのほかは脱がない。もし他人に触られて嫌だと感じたり、プライベートパーツを見せることを強要されたりした場合は、その場をすぐに離れ、信頼できる大人に伝えるよう話しておく、性暴力被害に遭った場合でも早い段階で把握できる。体のどこが痛いのか、どんなことをされたのか。嫌なことを「嫌だ」と伝えられることが大切だ。

## おしっこのでぐちは どうやってあらうの？

プライベートパーツは  
じぶんで あらうことが たいせつです

おとこのこ

ペニスの さきのところは  
おしっこなどが ついて  
よごれやすいです



1



包皮を  
からだのほうに  
ひいて

2



おゆ をかけて  
ペニスのさきを  
あらう

3



包皮をもとに  
もどす

こどもの まわりは  
せっけんをつけて あらおうね

おんなのこ

しゃがんで  
おゆ をかけよう

おしっこの  
でぐちのまわりは  
せっけんをつけずに  
やさしく あらいます



イラスト・おおいみさき



## ● 淡々と事実伝えて

「赤ちゃんはどうやって生まれるの」と子どもに聞かれて困り、笑ってごまかす大人は多い。子どもたちはそんな反応から「これは聞いてはいけないこと」というメッセージを受け取ってしまう。「恥ずかしいと思うのは大人だけ。子どもは純粋な気持ちで聞いてくるので、『あなたが大切』というメッセージとともに事実を淡々と伝えれば受け止めてくれる」と中野さん。言葉にするのが恥ずかしければ、絵本などを活用して会話のきっかけにするといい。

親向けに、子どもたちへの性教育の大切さ訴えている「とにかく明るい性教育 パンツの教室協会」代表理事ののじまなみさんは、元泌尿器科の看護師で3児の母。多くのママ友が、子どもが勝手にスマホの動画サイトでアダルト動画をのぞいていた・子どもに性のことをどう伝えればいいのか分からない・自分が性被害に遭った経験があり、子どもは加害者にも被害者にもしたくないと悩む姿を見て、2016年から各地で母親向けに講座を開催している。男女で異なる性の意識や性交の仕組み、避妊の仕方、親子で話し合うきっかけについて伝え、30～40代の母親に好評だ。講座はカードゲームや「こんなときどうする？」といったディスカッションも交え、笑いが絶えない。

## ● 未来を守る知識

のじまさん自身、両親がオープンに性のことを話す家庭で育ったといい「交通安全のルールを教えるのに、自分の体を守るための性について教えないのは危険。性教育は未来を守る大切な教育」と説く。動画サイトやコンビニエンスストアのアダルト本コーナーなど、偏った性情報があふれている現代。それらの情報に接する前に正しい知識を身につけておく必要がある。「大きくなると親の話は聞かなくなるので、幼い頃から親子で話すことが大切です」と勧める。

「毎日新聞」(2018年7月)

